



探訪 長門のいしおみ ⑤7

のちに松あり
有後松の碑

この碑は、仙崎・八坂神社境内の「征清凱旋記念碑」の傍らに建てられている。

碑には退職記念に植えた松の木、30年後の生長ぶりが刻まれていて興味深い。あまり大きくはないが、当事者の奥ゆかしい心根がしのばれるいしおみである。昭和6年(1931)の建立で、総高120cm。碑文(「」は行区切り)

〔正面〕

明治三十二年五月十五日／日予辞仙
有 崎小學校之際／手植稚松七株干社
後 頭以／寓待有後之意後三十年／來
松 觀枝々生長葉々繁茂／綠陰滿苑矣
因名以有後／松云／昭和六年辛未
之春

〔背面〕

社司 宮国明満 奉務中
菱海村 前田 穰



書き下し文

明治三十二年五月十五日、予、仙崎小學校を辞したる際、稚松七株を社頭に手植えし、以て寓にて待つは後の意有ればなり。三十年の後に來たりて觀れば、枝々生長、葉々繁茂して綠陰苑に滿つ。因りて名づけて有後松と以す。昭和六年辛未の春。

碑文に「明治32年(1899)5月、仙崎小學校を……」とあるが、当時の校名はまだ「瀬戸崎(尋常高等)小學校」であった。「仙崎小學校」と記したのは、この碑を建てた昭和初年の校名を用いたからであろう。ちなみに「仙崎小學校」と改称されたのは大正8年のことである。

碑文の撰者と思われる菱海村(現、油谷町)前田穰は、同校第15代校長・前田喜太郎氏のこと。
社頭に生い茂っていた松は、姿を消して既に久しい。

(寄稿・長門市郷土文化研究会)

(正)

こちら 119

風水害に備えよう!!

近年、集中豪雨や台風により、家屋浸水、土砂崩れ等の災害が全国各地で発生しています。梅雨時期に向け次のことを心がけておきましょう。

- 付近の危険場所を把握しておく
 - 避難場所を確認しておく
 - 避難グッズ(非常食、飲料水、衣類、懐中電灯、ラジオ等)を常備しておく
- 災害による被害を最小限に食い止めるには、何よりも普段の備えが大切です



長門地区消防本部・中央消防署 22-0119
火災時の問い合わせ 22-1414
ホームページアドレス
<http://member.hot-cha.tv/~htb20504/>